

ファーマパッケージング事業の事業戦略

2025年5月20日

ファーマパッケージング事業部長

岩佐 昌暢

本日の発表内容

- 1 損益推移（2024年第4四半期累計）
- 2 市場環境および成長戦略
- 3 高付加価値製品へのシフト
- 4 One Stop Solution の販売強化と海外展開の進捗

損益の推移状況

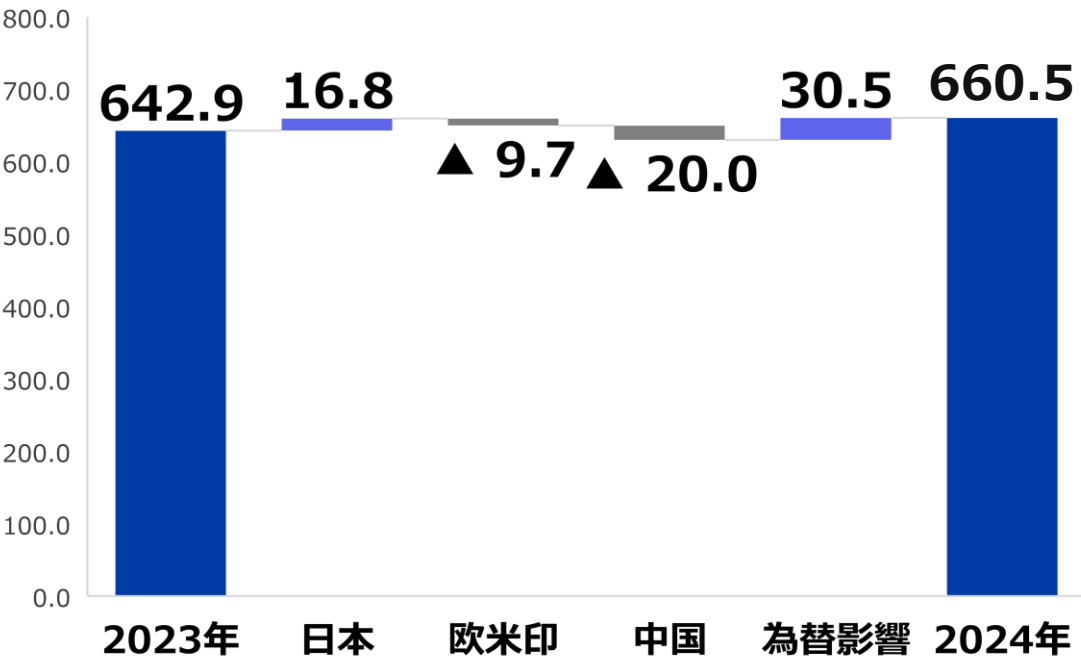
[単位：億円]

勘定科目	2023年	2024年	増減額	対前年比率
【売上高】	642.9	660.5	17.6	102.7%
（うち外部顧客への売上高）	580.3	592.6	12.4	102.1%
【売上原価】	529.2	568.1	38.9	107.4%
【売上総利益】	113.7	92.4	▲ 21.3	81.3%
（売上総利益率）	17.7%	14.0%		
【販売費及び一般管理費】	89.2	95.1	6.0	106.7%
【営業利益】	24.5	▲ 2.7	▲ 27.2	▲ 11.1%
（営業利益率）	3.8%	▲ 0.4%		

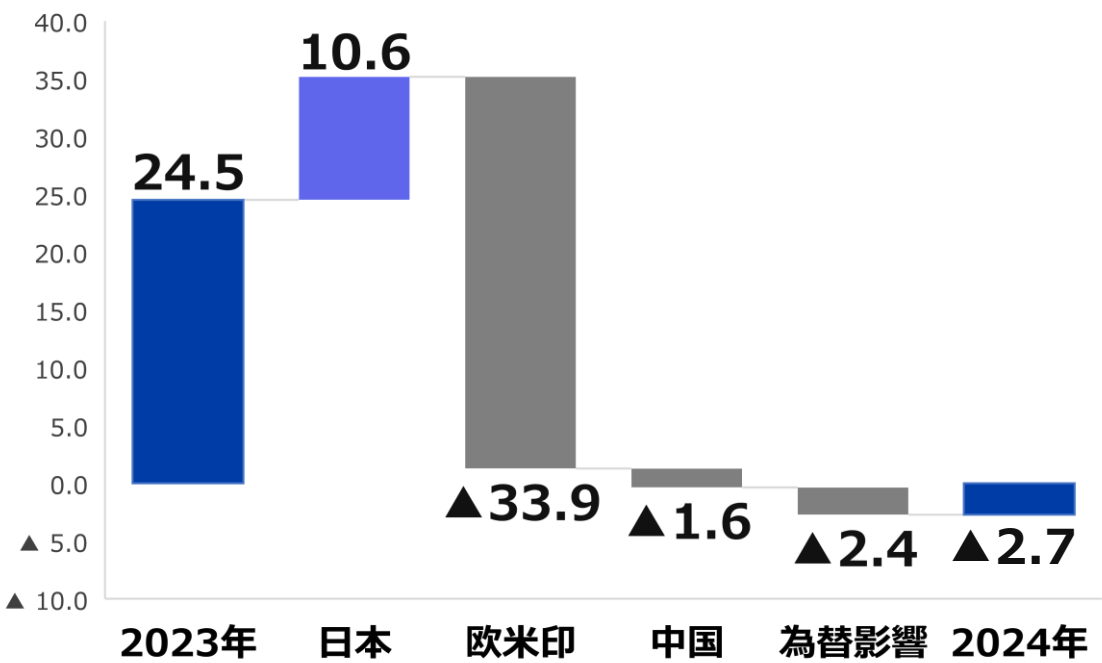
損益推移（売上高・営業利益の地域別増減状況）

[単位：億円]

売上高



営業利益

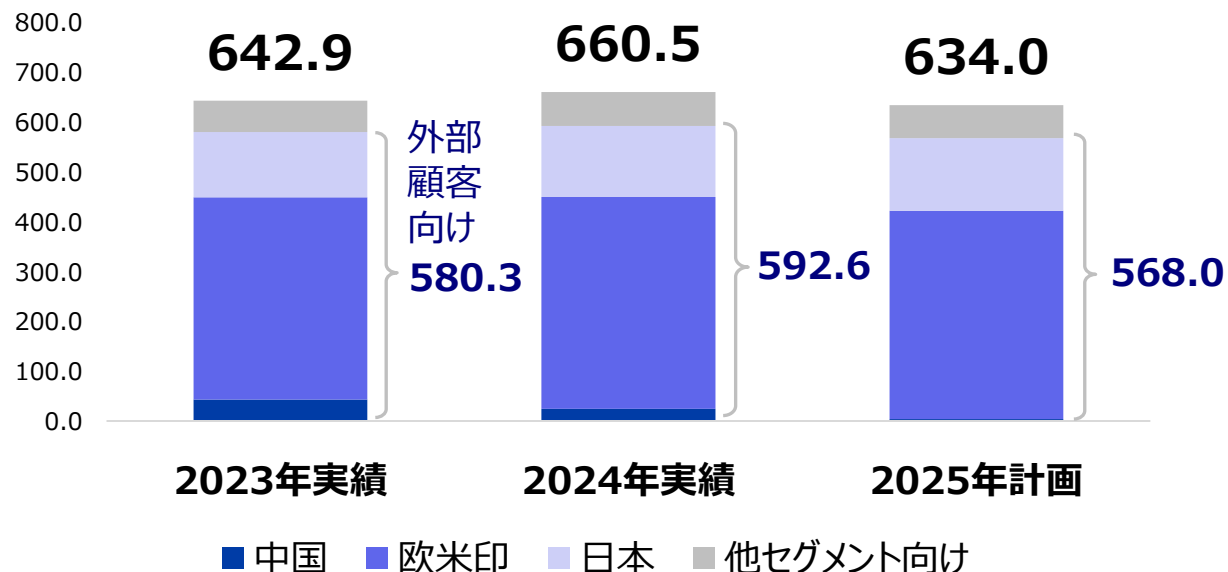


通貨	2023年実績	2024年実績
USD(米ドル)	141.20	152.24
EUR(ユーロ)	153.17	164.36
CNY(人民元)	19.87	21.12
INR(インドルピー)	1.72	1.83
RUB(ロシアルブル)	1.67	1.64

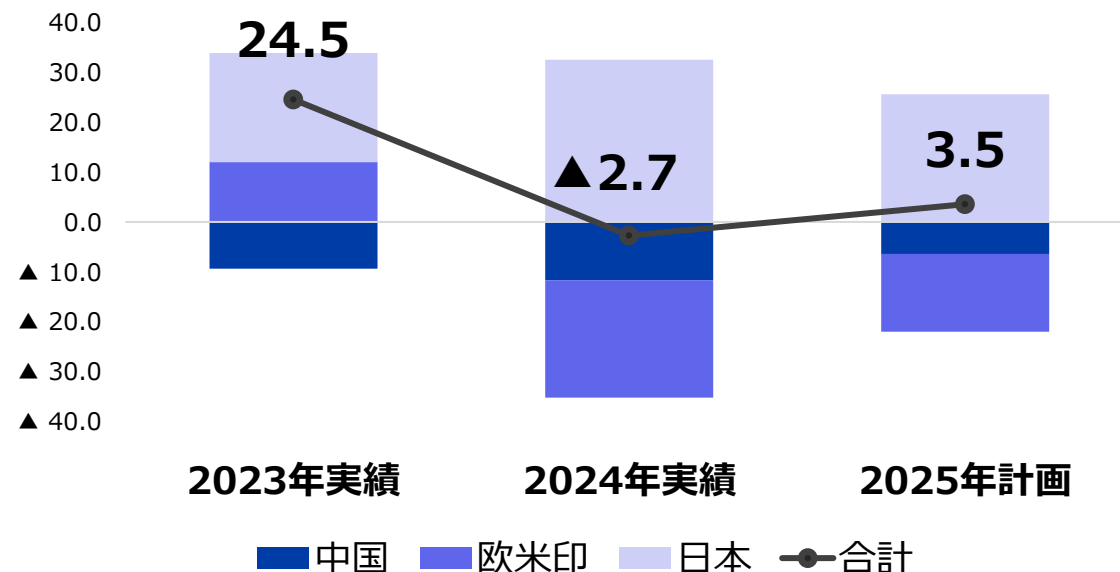
2025年計画

[単位：億円]

売上高



営業利益



2025年計画

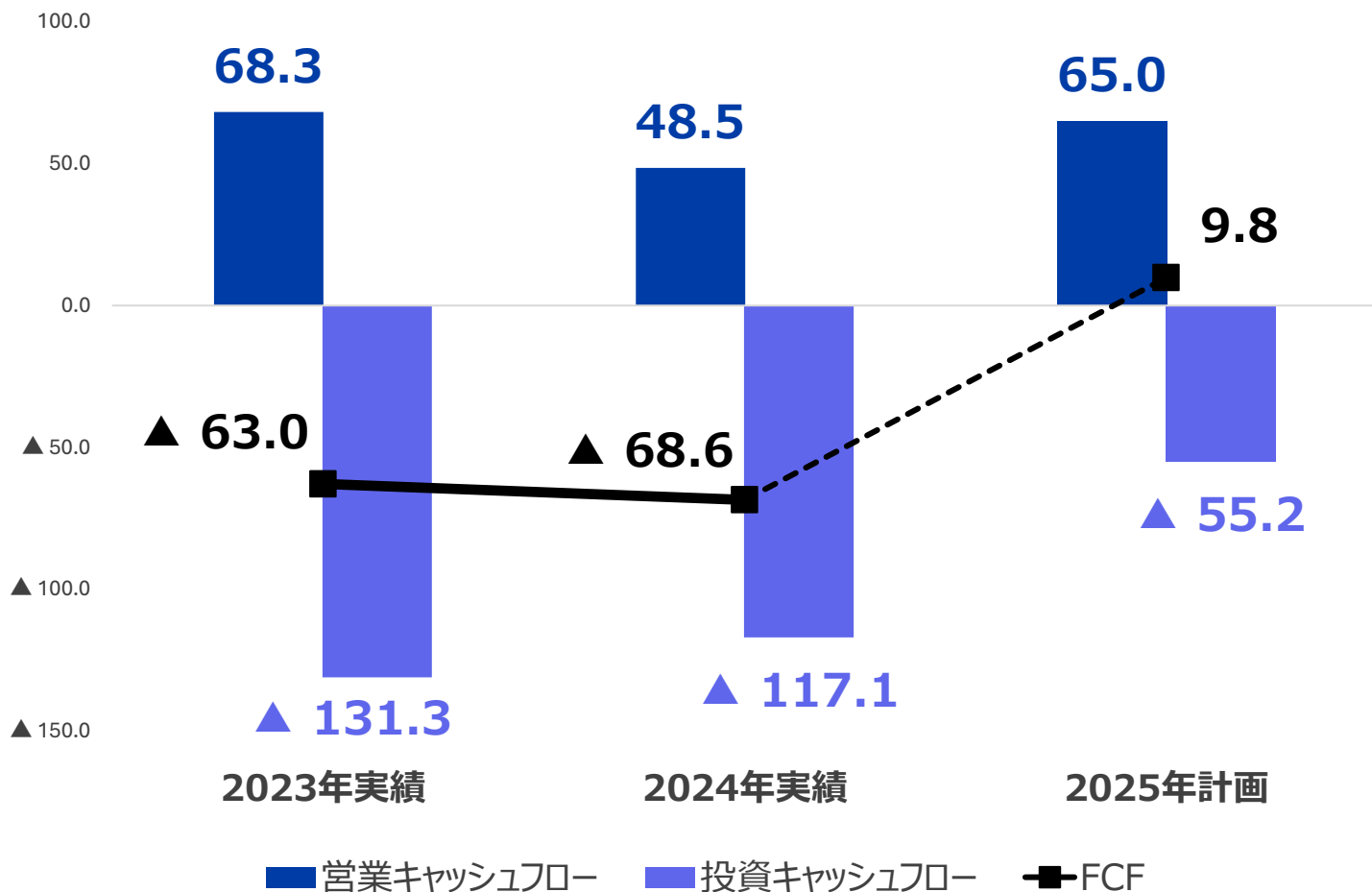
通貨	2024年実績	2025年計画
USD(米ドル)	152.24	139.00
EUR(ユーロ)	164.36	158.00
CNY(人民元)	21.12	20.00
INR(インドルピー)	1.83	1.80
RUB(ロシアルーブル)	1.64	1.46

- (欧米印) 為替影響により売上減となるが、徐々に市況が回復しバイアルとシリンジの販売で伸長
- (中国) 合併ビジネスの段階的解消の影響を受けるが、グローバルスタンダード品の販売に注力
- (日本) バイアル、輸液・キット関連製品の出荷増に伴い増収となるが、原価高により若干減益

キャッシュフローについて

フリーキャッシュフローの推移

[単位：億円]



直近実績

- ワクチン需要の拡大にともなう増産対応と将来のバイオ医薬品関連製品の需要増加に備えて、設備投資は増加傾向でフリーキャッシュフローはマイナスで推移

今後の方針

- 設備投資の制限と、営業キャッシュフローの改善により、フリーキャッシュフローをプラスに維持していく方針

市場環境および成長戦略

市場

- コロナ禍収束により、在庫調整局面でのガラス製品の需要減少
- インフレの影響による材料・労務費の高騰

顧客（製薬会社）

- バイオ関連医薬品はPFS化の需要増加
- GLP1製剤の需要拡大
- 予防・在宅医療の推進
- 製薬各社は生産効率を上げるために充填工程のReady-To-Use (RTU)化が加速

競合他社

- 競合他社も総じて在庫調整による需要減の影響を受けて苦戦
- 抗凝固剤分野では中国製薬会社を通じ、中国メーカーが台頭

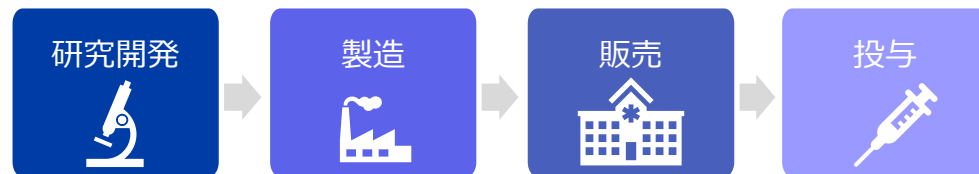
成長戦略

- 1 One Stop Solution
- 2 高付加価値製品へシフト
- 3 生産体制の集約と再構築
- 4 品質改善と生産性向上
(OPEX Project)

成長戦略の概要

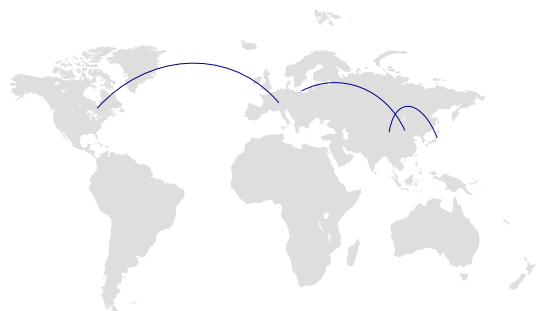
1 One Stop Solution

- 培養関連商品、ガラス容器の原材料、直接容器から調製・投与デバイスまでそろえており、医薬品の研究開発～患者様への投与までのソリューションを提供



3 生産体制の集約と再構築

- 各国のニーズに合わせ、製造品目の最適集約化を行う



2 高付加価値製品へのシフト

- バイアル
高機能バイアルの開発と事業拡大に注力
D2Fバイアル（RTU*）の生産開始
- シリンジ
注射針付きのRTU*シリンジ製品の拡充
顧客・市場ニーズに応じたPFSの開発
- ガラス管
バイオ製剤向けガラス管の事業拡大

* RTU: Ready-To-Use



4 品質改善と生産性向上（OPEX Project）

- 省人化推進と自動化機械の最大活用
- 全社横断的に品質と生産性向上、コストダウンに対する施策を横展開
- グループ内で生産技術・品質の均一化

高付加価値製品へのシフト

～幅広い顧客に多様なソリューションを提供するためのポートフォリオを順次拡大～

① Ready-To-Useの促進

蒸気滅菌済
D2F™ シリンジ (BOS)



滅菌済D2F™バイアル



② 医薬品の品質向上

高機能バイアル



シングルユースバッグ
Ustem™



滅菌済D2F™ シリンジ
(トレーサビリティ対応)



③ 安全性・有用性の向上

経鼻デバイス
ExaDose™



安全機構付オートインジェクター
PiccoJect™



安全機構付デバイス
UniSafe™



開発品および新規上市品は、顧客および提供価値に応じて、

①製剤メーカーの省工程化、②医薬品の品質向上、③ユーザーの安全性や有用性の追求といった3分野に区分される

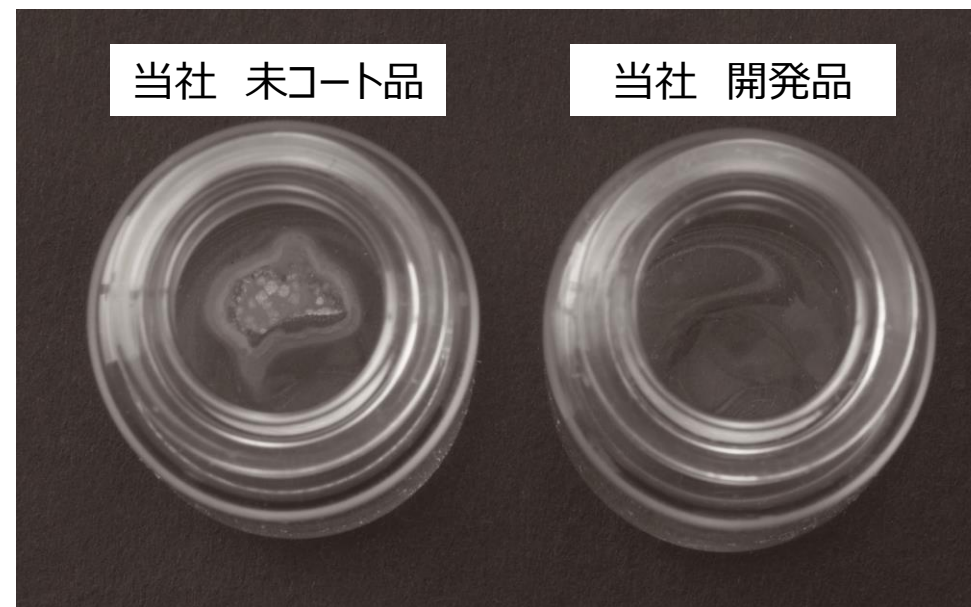
タンパク質低吸着

～コーティングバイアル（タンパク質低吸着）～

- ガラス容器は、医薬品の有効成分となるタンパク質を吸着することが知られており、ニプロではタンパク質吸着量をノンコートバイアル比で7割以上低減可能な特殊コートバイアルを開発した。
- 成長が著しい再生医療などに使用されるバイオ医薬品の需要に対応した製品として今後上市を目指す。



製品イメージ

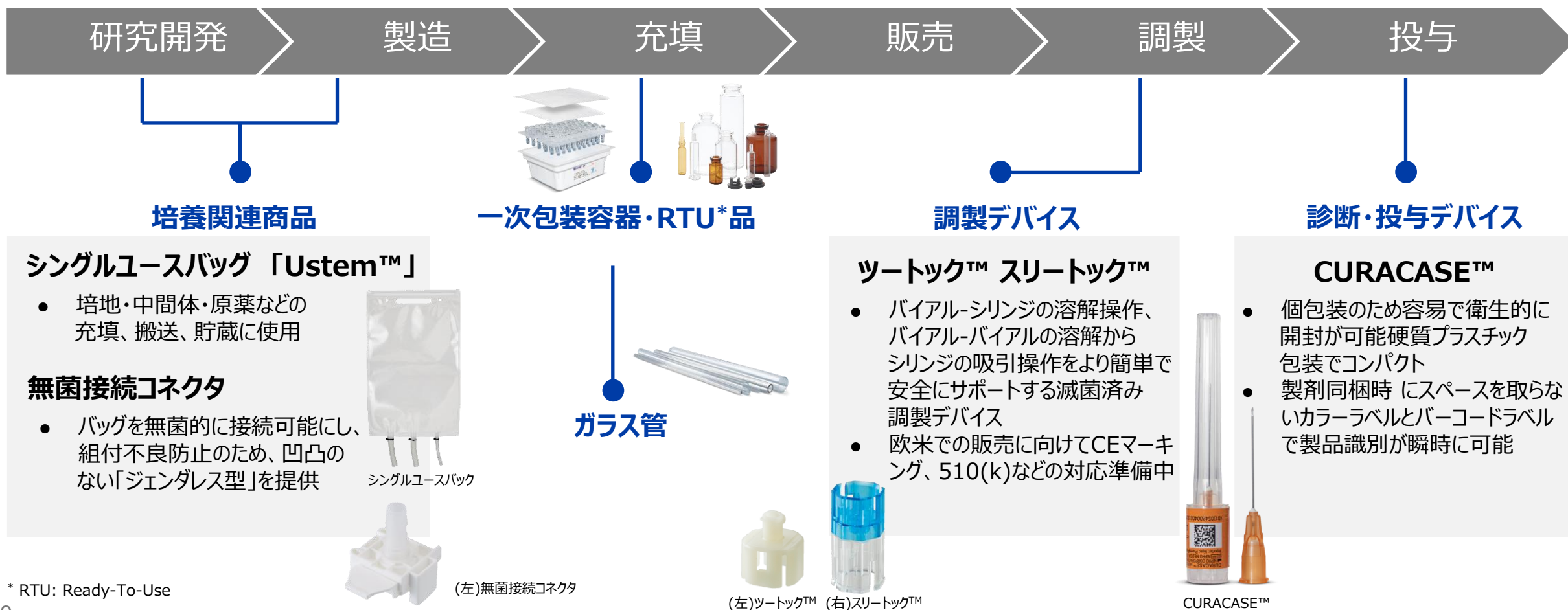


フィブリノーゲンを充填後、洗浄

One stop solutionの販売強化

～医薬品の研究開発～患者様への投与までのソリューション提供を強化～

- 製薬の研究開発から患者様への投与までの工程（概略）



ファーマパッケージング事業部は、
医療・医薬の分野で培った技術とノウハウを基に、
医薬用総合容器メーカーとして、
真に必要とされる先進的商品を供給することで事業拡大を行い、
世界中の人々の健康に貢献して参ります。

本資料における予測数値等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

実際の業績等は今後の様々な要因により、本資料の記載事項と大きく異なる可能性があります。